

消防団活動の推進に尽力

能代谷政敏さん 消防庁長官表彰
佐々木 宏さん 日本消防協会表彰

永年にわたり消防団員として在職し、その功績が顕著である方に贈られる、平成23年度消防庁長官表彰（永年勤続功労章）

に前北後志消防組合積丹消防団第7分団長の能代谷政敏さん（66歳・余別町）が、また、日本消防協会定例表彰（精績章）に同消防団副団長の佐々木宏さん（69歳・美国町）がそれぞれ受章され、5月19日に開催された北後志消防大会において表彰状が伝達されました。



▲ 能代谷 政敏さん（余別町）

火災や災害出動において指導力を発揮され、今年3月に退団されるまでの40年間活躍されました。

また、佐々木さんは、昭和38年に入団以来48年間の永きにわたり在職され、平成21年からは副団長として現在も消防の第一線で活躍されています。

このほか、後志地方支部余市分会表彰優良団員として次の方々が表彰されています。

第2分団 部長 加藤弘一さん
第6分団 団員 荒谷 保さん
第7分団 団員 角田拓也さん



▲ 佐々木 宏さん（美国町）

「一秒の差」放水競技で第5分団（野塚）が優勝

北後志消防大会では、表彰に先立ち部隊演習が行われ、北後志5町村の消防団が日頃の訓練の成果を競い合いました。

積丹消防団から第5分団（野塚地区）の団員5人が参加し、見事、放水競技の部で優勝しま

した。参加された第5分団団員は次のとおりです。

- 副分団長 横山 弘明さん
部長 横山 光明さん
班長 成田 洋之さん
班長 中村 修さん
団員 吉田 幸二さん

まちづくり活動支援事業補助金が決定！

— 第2次応募締切日は7月25日 —

町民の皆さんによる自主的・主体的なまちづくり活動を支援する「まちづくり活動支援事業補助金」の今年度第1回目の応募に4事業の応募がありました。5月10日に第1回事業選定委員会が開催され、その結果3事業、補助金総額1,576千円の補助金の交付が決定されました。

○交付決定事業及び交付決定額
・地域づくり支援事業（ソフト事業）

No.	事業名 (申請団体名)	事業概要	補助金要望額 (交付決定額)
1	地域景観形成事業 (美国商店連盟)	美国町・国道229号の街路灯に設置したペナントフラグの補強、マリーゴールドを植えたプランターの設置による地元客及び町外客の歓迎。	376,000 (376,000)
2	air sound of shakotan Music square 2012 in IRIKA 開催事業 (air sound of shakotan 実行委員会)	入舸地区を中心に積丹町を若い力で元気にするための音楽イベントの開催。	600,000 (600,000)
3	岬の湯しゃこたん冬の火花事業 (積丹観光協会)	秋季から冬季にかけての観光宿泊客の集客誘致を図るため花火大会を実施する。	600,000 (600,000)



この看板の設置活動は、海浜地のゴミ処理マナーの悪さから「お役に立てれば」と同会員が自ら看板を製作し、設置しているもので、今年で7年目となります。

例年多くの海水浴客や釣り客で賑わう小泊海岸や野塚野営場、日司・入舸海岸など町内16カ所に合計32枚の看板を設置し、海浜美化を呼びかけました。

積丹町技能士会（佐々木宏会長）は、4月27日、『ゴミ持ち帰り』を呼びかける看板の設置をしました。

「ゴミは持ち帰り、海岸をきれいにする」
町技能士会が看板設置



「二つ星の店」が掲載される

二つ星の店に旅館・美国観光ハウス

春の気配を感じる4月中旬、積丹町にとって、大きなうれしいニュースがありました。

「ミシュランガイド北海道2012特別版」に、「旅館・美国観光ハウス」（成田由紀子代表、美国町）が、「遠回りしても訪れる価値のある素晴らしい料理を提供する『二つ星のお店』」として、また、町内のもう一店が、「おすすめのお店」として掲載されたのです。

世界でも権威があるミシュランガイドに町内のお店が掲載されたことは、「自然と食材」を看板としてきた観光地・積丹町の他の飲食店にとつても朗報となり、そこに住む私たちにとつても誇れるニュースです。

今回の掲載について美国観光ハウスの成田さんにお聞きしたところ、「突然の『二つ星の店』としてのガイド掲載を知り、本当に驚きだった。今回、本業が旅館ながら飲食店としての二つ星をいただいたのは1軒であり、ミシュラン掲載店という信



©MICHELIN2011

用に恥じないよう、今まで以上に美味しい料理を提供していきたい。」と感想を話されていました。

町内の各飲食店が、積丹町の食材の素晴らしさを生かし、それぞれに個性ある料理で観光客をもてなし、その結果が、「食」による地域の活性化となることを期待したいと思います。

（おすすめのお店）は、お店の意向により、店名は掲載していません。

ミシュランガイド

フランスのタイヤメーカが発行する飲食店と宿泊施設のガイドブック。飲食店を1〜三つ星の数、宿泊施設を5段階で評価することが特徴。

積丹の伝統芸能

「正調鯨場音頭」を記録

「音頭の海に響け！鯨場音頭」

積丹町の無形文化財「正調鯨場音頭」は、明治から昭和初期にかけての鯨漁全盛期に漁業者たちによって勇壮な労働歌として生まれ、積丹町鯨場音頭保存会（佐々木宏会長、会員13人）により現在まで伝承されてきましたが、同保存会の会員の高齢化や後継者不足に悩んでいるのが現状です。

町教育委員会では、このような現状から地域に受け継がれてきた「正調鯨場音頭」を記録保存し、後世に残すとともに多くの方に関心を持っていただくため、DVDと鯨場音頭の歌い手による音源の楽譜を作成しました。

このDVDには、同保存会の皆さんによる「正調鯨場音頭」の演舞や、鯨漁の働き手として当時18歳で漁に出た最上嘉一郎さん（92歳・美国町）のインタビューのほか、積丹の豊かな自然や歴史、美国神社や神威神社の例大祭、幌武意太鼓などの映像も記録。地域の伝統芸能がどのようにに現在に継承されてきた

のかを約35分にまとめた作品となつていきます。

また、楽譜は、現在残されている鯨場音頭の歌い手、故須田藤太郎さん（美国町）、故小原秋雄さん（入舸町）、故成田常雄さん（入舸町）、佐々木宏さん（美国町）、それぞれ4人の音源を採譜作業（※）により作成したものです。

町教育委員会では、DVDの視聴を希望する団体等に無料で上映会を開催します。

お気軽にご連絡ください。



（※）楽譜に書かれていない曲を楽譜に書きとる作業。

清掃活動に汗

美国婦人会清掃活動

美国婦人会（戸来和子会長）は、5月7日に美国橋から新美国橋までの美国川周辺の清掃を実施しました。

美国川の河川敷地では、ゴミのポイ捨てや不法投棄が多く見られることから、「きれいにした川を見て、少しでもゴミを捨てる人が少なくなれば」と、会員15人の協力により実施されました。

時折小雨が降る中、空き缶やペットボトル、雑誌など約2時間をかけて拾い集めました。

